

## 地域特定課題提案に対する現状

## ○提案の内容

提案委員	山田 準二 委員
課題名	地域資源を活用した国府町の観光振興
提案理由	国府町には、多くの歴史遺産、万葉集関連箇所、殿ダム、雨滝、扇ノ山などがあるが、観光に訪れる人は少なく、事業も単発で、それぞれの結びつきもほとんどない。自然も豊かなので、何とか観光振興が図れないか。
課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の再確認と観光として不足している点の点検</li> <li>・実施している事業の総点検（反省点と改善提案内容）</li> <li>・資源の有機的な結びつきの模索</li> <li>・新しい事業の提案</li> </ul>

## ○地域資源を活用した国府町の観光振興の現状等

概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光資源：扇ノ山、雨滝、栃本廃寺跡、上地棚田、殿ダム、学行院、岡益石堂、梶山古墳、長通寺、旧美敷水源地道施設、因幡万葉歴史館、因幡国庁跡、大伴家持歌碑、宇倍神社、池田家墓所 他</li> <li>◆観光イベント：国府フィッシングフェスタ、雨滝滝開き祭、扇ノ山山開き祭、因幡の傘踊りの祭典、万葉ウォークラリー、万葉フェスティバルin鳥取 他</li> <li>◆組織：国府町観光協会、いなば国府ガイドクラブ、NPO法人万葉のふるさと国府創生会、国府文化協会 他</li> </ul>
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆いなば国府ガイドクラブ 会員12名：観光ガイド、独自イベントの開催、イベントのサポート活動。</li> <li>◆NPO法人万葉のふるさと国府創生会 会員16名：国府町内の振興と観光客との交流を目的に活動。民間の助成金を活用し、観光客40名が休憩等に利用可能な施設「サロン一宮」をH29.10月に宇倍神社参道沿いにオープン。現在は地域住民が主な利用者。</li> <li>◆国府町観光協会 会員23名：鳥取市観光コンベンション協会からの助成を受け、雨滝滝開き祭、扇ノ山山開き祭を開催し、市と協賛して扇ノ山トレッキングやフォトコンテスト等の事業を行っている。国府町全域の観光を担う組織として機能しているとは言い難い。</li> </ul>
今後の方針	<p>市内他地域の「観光協会」は、町内の観光関連団体が一堂に加盟し、観光に関する総合窓口として機能している。しかし、国府町では「国府町観光協会」という組織はあるものの、上記記載の他団体と同列にあり、団体間の連携や国府町全体の各種事業や広報活動を総括するような機能は果たしていないのが現状である。</p> <p>このため、国府町の観光振興を図るうえで、「まずは観光協会として機能する組織体制の構築が必要」との考えから、令和2年度に「国府町の観光を考える会」を立ち上げ、関係団体との意見交換をする中で「国府町観光協会の在り方」等について検討を始めた段階。</p>